



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2010年（平成22年）6月5日号 No. 1497

目次

■2009年のロシア極東を振り返って.....	齋藤 大輔 1
■トピックス	10
HISモスクワ支店オープン／10	
アネスト岩田モスクワ事務所が現法化／10	
ウラジオに秋田県ロシアビジネスサポートセンター／10	
北九州市とチェリャビンスク州との経済協力協定／10	
道産食品のロシア向け輸出促進／10	
■エトセトラ	10
「マガダン州プレゼンテーション」開催のご案内／10	

2009年のロシア極東を振り返って

ロシアNIS経済研究所
調査役 齋藤 大輔

はじめに

大規模な経済開発が進むロシア極東に注目が集まっている。そこで今号では、ロシア極東の2009年を振り返ってみる。主要経済指標や主な出来事も合わせて掲載する。

1. 政治

4月、サフォーノフ極東連邦管区大統領全権代表が退任し、後任にはイシャーエフ・ハバロフスク地方知事が就任した。代表にはこれまで3代続けて、極東に全く縁のない人物が選ばれてきたが、地元の、しかも極東で最も影響力のある政治家が初めてトップに就いた。内務省出身のサフォーノフ氏は在任中、アムール州や沿海地方幹部への汚職摘発で実力を発揮したものの、経済分野、とくに極東開発での存在感は薄かった。一方、新代表は、2012年のAPECサミットに向けてウラジオストクとその周辺で進むインフラ整備やソフガワニの港湾整備など経済開発を最優先課題と位置づける。だが、ウラジオストクでのインフラ整備では、ダリキン沿海地方知事に主導権を握られたままで、知事と違って、トップだが実権のないポストに苦勞しているようにもみえる。